



## 2024年 希望に溢れる年となりますように

新年おめでとうございます。

とうとう義務教育最後の日々を過ごすこととなります。卒業までの日数を数えてみると、あとわずか59日を残すのみとなりました。卒業は3月なのでまだ先のことに感じますが、実際は3月上旬が卒業式。この59という数字に、驚きと焦りと寂しさの入り交じったような複雑な気持ちを抱いてしまうのは、一人や二人ではないような気がします。

この短い期間に、生徒たちは『受験』、そして『中学校卒業後の進路決定』というとても大きな選択を経験します。時には目標を修正せざるを得ないこともあるでしょう。思い通りにいかず、苦しい局面を迎えることになるかもしれません。しかし、これまでの多くの先輩が経験して来たように、受験という壁を乗り越え、進むべき道を見い出してほしいと願っています。未来につながる道は決して一つだけではなく、どの道にもそれぞれの意味や味わいがあるはず。今はその中でも、自分に最もふさわしいと思える道に進むことができるよう、全力で向かってほしいと思います。

### 令和6年 3学年代表新年の抱負

#### 受験生としての抱負

三年一組 Y・M

新年を迎え、私たち三年生は受験に向けてさらに力をいれなくてはならない時期となりました。本格的な受験期となった今、私は新年の抱負を三つ立てました。

一つ目は、計画を立てて勉強をすることです。今まで私はただ長時間勉強すればよいと思い込んでいました。それは、時間をかけたことに達成感があり、多く勉強した気になっていたので。しかし、母から「長時間勉強するのがよい訳ではない」と言われ、その言葉にはっと気付かされました。時間をかけたわりに結果が出ていないのは、計画を立てずに勉強していたからだと反省しました。それから私は、その日やるべきことをリスト化して、何時までに終わらせるぞという目標を立てるようにし、そのおかげで効率よく勉強できるようになり、成績も上がるようになりました。この経験がなかったら今も成績の伸び悩みがあったと思います。

二つ目は、時間を大切にすることです。受験生にとって時間というのはとても大切なものです。しかし、私のクラスでは一分前行動ができていない人、できていない人の差があり、時計を見て行動する、つまり時間の大切さを忘れかけている人がいるように思います。時間は無限にあるけれど、受験までに残された時間は有限です。残された時間を無駄にしないように、当たり前である一分前行動を改めて見直し、みんなで時間を大切に生活していきたいです。

三つ目は、助け合いを積極的に行うことです。先日、担任の先生から「互いに助け合おう」というお話がありました。この言葉を聞いて、私は自分を振り返ってみました。「誰か手伝って。」と言われた時に「私は自分の都合があって忙しいから。」「誰かがやってくれ。」と言いつつ助けを求めないことがありました。「本当は少しでも手伝いたい。」と思っただけで行動に移すことができませんでした。しかし、私は誰かに手伝ってもらえなくても温かい気持ちになるということを思い出しました。この気持ちは互いに共有すべきもの、つまり助け合いというのは互いに与え合う必要があると思います。高校生になったら、新しい環境、新しい仲間との生活がスタートします。新しいこと、スタートは大変なことや一人ではできないことがたくさんあります。そんな中でこそ助け合いが重要です。そのために、積極的な助け合いを心がけていきたいです。

新年の始まりは、自分の決意を固めることができます。この三つの抱負を心に刻み、自分の目標に向かって、日々努力を重ねていきたいです。

- 明日1月10日は私立高の推薦や学力奨学生入試などが行われます。受験する皆さん全員の健闘を心から応援しています。
- 1月12日は最後の実力審査です。入試本番のつもりで緊張感を持って臨んでほしいと思います。